

書塾の仲間たち

第 269 回

かすみ
香墨書道教室（東京都大田区）



●書塾からひとこと●

自宅の一室で、五席だけの小さな書道教室を開いてから今年で八年目になります。最初は幼稚園のお友達に声をかけ、二、三人で始めたのがきっかけでした。あれから人づてに生徒さんが増え、これまでに二百名を超える方々と書を通してご縁をいただきました。

子どもたちがお稽古で一つひとつ、着実に上達していく姿を見ることが何よりも楽しく、「上手に書けた！」と目を輝かせる瞬間に立ち会えることは指導する立場としてこの上ない喜びです。

また、最近では小学生だけでなく、中高生や大人の方にもお越しいただくようになりました。ホームページを見つけて「子どもと一緒に学びたい」と訪ねて来られる保護者の方でも、書道を楽しむ世代が広がっていることをとても嬉しく思います。

こうして生徒さんや保護者の方と関わる中で、改めて実感するのは——文字を書く機会が減っている時代とはいえ、きれいに書けたときの喜びや書かれた文字から人柄を感じる心、そして墨の香りに包まれて静かに集中する時間の心地よさ。そうした感覚が、今も私たちのの中に確かに残っているということです。

書道を通して自分と向き合う時間は、字をきれいに書くためだけではなく、もっと多くの大切なものを育んでくれると感じています。「習い事で書道が一番好き」「ここに来ると落ち着く」「書道のあとは頭がスッキリする」「学校の先生に字が上手だと褒められた」「ついに一級になったー！」——生徒さんたちのそんな嬉しい言葉を励みに、私自身も日々精進し、これからも書の文化を伝えていきたいと思っています。

香墨書道教室 川鍋 薫

書塾ホームページ (<https://www.kasumi-syodo.jp>)
※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

生活

小五 諸橋 涼音



「試行さくぐ」しながら練習しています

静岡県裾野市立西小学校五年 諸橋 涼音

私は、小学一年生の時に書道を習い始めました。姉が始めると言っていたので、私も一緒に習うことにしました。最初のうちは、もともとあまり字は上手に書けなかったのですが、字がきれいになればいいなというくらいの気持ちでした。

三年生になると、字のバランスや線の強弱が難しくなり、思うように書けず、あきらめかけていました。そんな時、教室の作品展がありました。私は作品展の創作作品で「紅葉」と書きました。教室みんなの作品を鑑賞する時間があり、先輩たちの作品がとても上手で、文字もきれいで、絵とマッチしていて、「私もこんなふうに字を上手に書きたいな」と思いました。そのことがきっかけで、もっときれいに書けるように練習したり、先生のアドバイスを意識しながら書いてみるようになりました。

字を上手に書く努力を続けるうちに、学校の書写の授業の時、友達から「字がきれいだね」と言われるようになり、嬉しい気持ちになりました。私は書道を習っていて本当によかったと思いました。

最初に思っていた「なんとなく始めた習い事」という気持ちはだんだんなくなっていました。一緒に習っている姉の字もきれいなので、姉みたいに筆をスラスラと動かして、きれいな字を書きたくて、先輩たちの書き方を真似するようにになりました。そして、お手本のような字を書きたくなり、今も試行さくぐしながら、字の大きさに気をつけたり、強弱をつけることができるように練習を続けています。

私も中学生や高校生になったら、姉や先輩たちのように、お手本になるような字が書ける人になるよう、がんばります。

私と書写書道 第269回

気象

小六 山根 花



「もつといっぱい字を書きたい！」

静岡県裾野市立南小学校六年 山根 花

私は小学三年生から書道を始めました。きっかけは、二年生の時に学校の書写の授業で字を書く楽しさに気づいたことです。「もつといっぱい字を書きたい!」「もつと字が上手になりたい!」と心の底から思い、書道教室に通い始めました。

最初に筆を持って字を書いた時は、緊張しすぎたのか、字がすごく震えて思わず笑ってしまいました。その後、「はね」や「はらい」のコツを先生に教えてもらってから、前よりもずっと上手に書けるようになりました。そんな時に、初めての作品展がありました。作品展に飾るために、きれいな背景に筆で字を書きます。この時も緊張と不安でいっぱいでしたが、半紙にたくさん練習してから本番に臨んだおかげで、「とても上手に書けた!」と思いました。飾られた作品を、祖父母や母たちが褒めてくれたのがとても嬉しく、自信ができました。

また、月刊「書写書道」を見て上手な人の字を参考にしています。自分の字を思い出して、「ここはもう少し細くしよう」「ここはもっとバランスを取ろう」など、改善点を見つけて自分の字を直していくことが楽しいです。

今、教室で一緒に筆を持つ仲間、同じ学校の人が多いです。始まる前の時間にちょっとした話で盛り上がり、字を書き終えた後でお互いに意見を言ったりします。夏休みの半切特別レッスンやクリスマス会では、さまざまな学校や違う学年の人たちが集まるので、普段あまり話したことのない人とも仲良く接することができ、楽しい貴重な経験ができます。

しっかり集中して先生の話を聞き、これからは友達と楽しみながら取り組んでいきたいです。作品展に飾る作品や、月刊「書写書道」に提出する字を書くときには、先生のご指導を意識して書こうと思います。